市民が考える脳死・臓器移植

専門家との対話を通じて

社団法人日本臓器移植ネットワーク 菊地 耕三

日本の脳死移植の状況

脳死下臟器提供数•移植件数

1997年10月~2004年1月4日

	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	合計
提供件数	0	0	4	1) 5	8	6	3	5	31
移植件数	0	0	13	19	35	27	9	18	121
心臓	0	0	3	3	6	5	0	5	22
肺	-	0	0	3	6	4	2	4	19
肝臓	0	0	²⁾ 2	³⁾ 6	6	⁴⁾ 7	2	3	26
膵臓(単独)	-	-	0	0	0	1	1	0	2
膵腎同時	-	-	0	1	5	2	1	4	13
腎臓	0	0	8	6	11	8	3	2	38
小腸	-	-	-	0	1	0	0	0	1

- 1)他に法的脳死判定実施後、臓器提供に至らなかった事例1件
- 2)他に摘出後、移植に至らなかった事例1件
- 3)分割肝臓移植(1提供2移植)を含む
- 4)分割肝臓移植(2提供4移植)を含む

1)脳死下臓器提供の条件 -1

本人が臓器を提供する意思、および脳死判定に従う意思を書面で表示していること

家族が臓器提供および脳死判定を拒まないこと

臓器移植を前提として法律に規定する脳死判定により脳死と判定された場合、脳死は人の死となる

1)脳死下臓器提供の条件 -2

・ 救急医療の関連分野において高度の医療が行える施設

大学附属病院

日本救急医学会の指導医指定施設

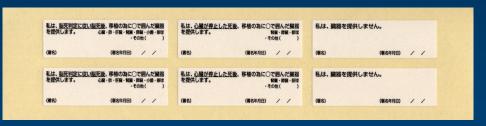
4類型施設 日本脳神経外科学会の専門医訓練施設(A項)

- 救命救急センターとして認定された施設

- ・ 施設内の倫理委員会等で臓器提供の承認
- 適正な脳死判定を行う体制

臓器提供意思表示カード・シール



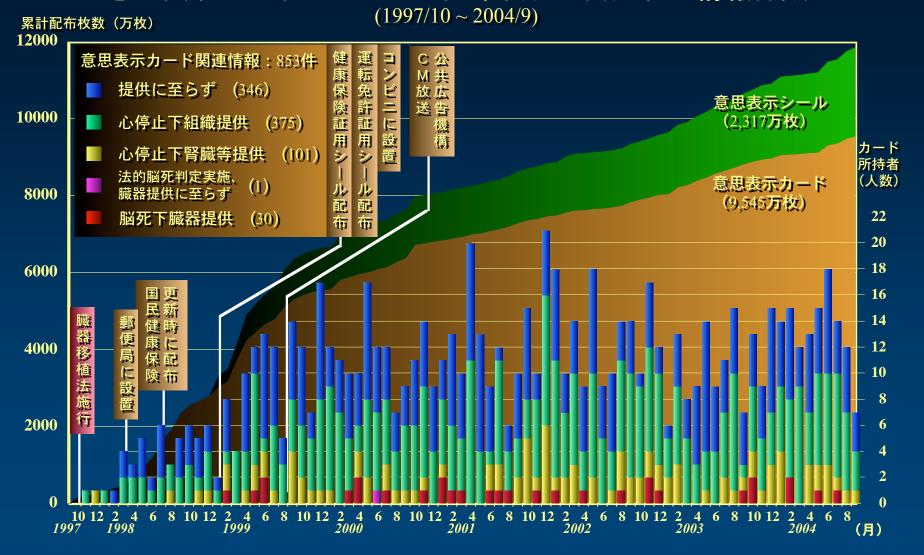






【 該当する1.2 提供したい				で
1 私は、 <u>脳死の判定に</u> を提供します。 心臓・肺・肝臓・		(×をつけた	臓器は提供しませ	
私は、心臓が停止します。腎臓・膵臓・私は、臓器を提供し	眼球・その	(×をつけた	で囲んだ臓器を 臓器は提供しま†	
署名年月日:	年	月	日	
本人署名(自筆):				
家族署名(自筆): 「可能であれば、この意思表示カードを持	ちっていることを知っ	ている家族が、そのこ	との確認の為に署名して	下さい。)

意思表示カード・シールの配布状況と関連する情報件数



Japan Organ Transplant Network

意思表示カード・シールによる情報



脳死下臓器提供の流れ 1

- 1)臨床的脳死診断
 - 臓器提供意思表示の把握
- 2)臓器移植ネットワークへの連絡
 - 移植コーディネーターの派遣
- 3)家族への説明

脳死判定承諾書 臓器摘出承諾書

- 4)第1回 法的脳死判定 開始
- 5)第1回 法的脳死判定 終了





Japan Organ Transplant Network

法的脳死判定

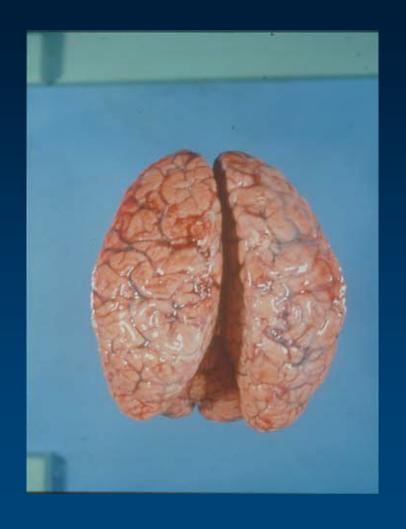
- I. 前提条件を確実に満たす
- Ⅱ. 除外例を確実に除外する
- Ⅲ. 生命徴候の確認確認する
- IV. <u>脳死と判定する為の必須項目</u>の 検査結果が全て判定基準と一致していること

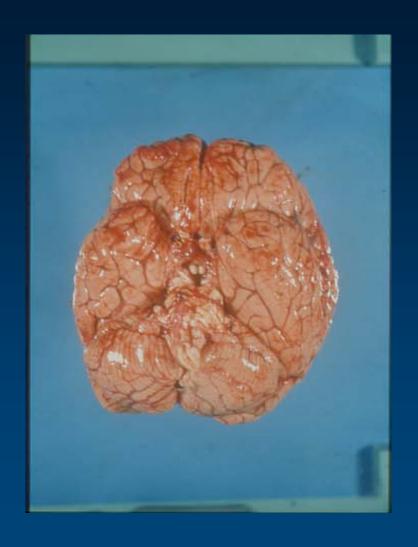
法的脳死判定

IV. 脳死と判定する為の必須項目

- 1. 深昏睡
- 2. 両側瞳孔径4mm以上 瞳孔固定
- 3. 脳幹反射の消失
- 4. 平坦脳波
- 5. 自発呼吸の消失

脳死は人の死か?













脳死下臓器提供の流れ 2

- 6)第2回 法的脳死判定 開始
- 7)第2回 法的脳死判定 終了

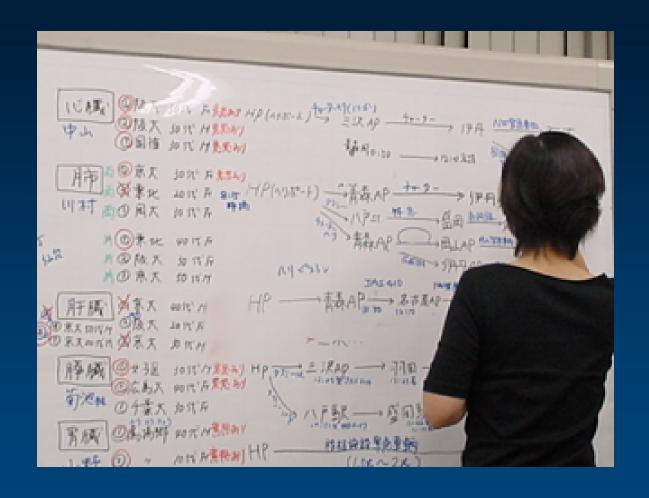
脳死判定記録 脳死判定の的確実施の証明書 死亡診断書

- 8)レシピエント意思確認
 - 臓器摘出チームの派遣
- 9)臓器摘出

ご遺体の処置

10)お見送り











臓器移植希望登録状況

平成17年1月4日現在

	心臓	肺	肝臓	腎臓	膵臓	小腸	
現登録者数	84	101	88	12,300	112	0	
待機	-	10	_	_	-	_	
死体移植済	22	19	26	1,497	17	1	
死亡	65	63	125	1,596	7	0	
生体移植済	-	12	86	1,087	-	0	
海外渡航	17	0	9	-	0	0	
取消	11	0	26	11,089	2	0	
その他・不	0	1	0	12	0	0	
明							

Japan Organ Transplant Network

脳死臓器移植の良い点と問題点

- 〇良い点 亡くなる命が救われる QOLが向上する
- 〇問題点 臓器不足 生体移植 海外渡航移植

今後どのようになるべきか

